

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ				
題名・副題	伝統工芸の「紙すき」を体験してみよう ～植物が温暖化防止に果たす役割を学ぼう～				
月日・時間	10月26日(土) 10:00～12:00				
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 2階・実験室				
部会・講師名	会員 荒谷輝正	参加数	7名	講師数	4名
写真					
	熱帯雨林、地球温暖化、ケナフについて説明		紙すきで和紙のハガキを作る手順を説明		
					
	子どもたちが紙すきで作った和紙のハガキ		ハガキには干公式スタンプで押印		
成果解説	<p>この教室は、日本の伝統工芸の「手すきの和紙」（ユネスコ文化遺産）を体験的に学び、紙の歴史や伝統技術の理解を深め、ケナフで和紙のハガキ作り、温暖化抑制に役立つことも学ぶもの。</p> <p>始めに教室の意義を説明。紙は多くの樹木から作られるので、熱帯樹林の樹木が切り倒されると、二酸化炭素を吸収して成長する樹木が減少、地球温暖化が進む要因の一つになっていること。樹木の代わりに一年草の植物「ケナフ」を栽培し、「ケナフ」から紙を作ることによって熱帯樹林を保護し温暖化の防止に役立つことを解説しました。</p> <p>この教室のテーマである日本の伝統工芸「紙すき」では、ケナフを素材とした「紙すき」を行い、子どもたちはモミジの葉を和紙にすき込んだハガキを2枚作りました。厚紙でハガキ立ても作りました。最後に、和紙の繊維を顕微鏡観察、和紙の特徴や和紙で作られている製品などについて解説し、日本の伝統工芸の理解を深めてもらいました。</p>				